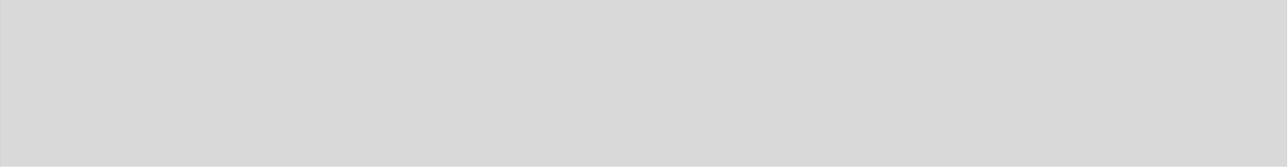




守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校の
統合に関する第一次提言書

平成24年12月

守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校
統合校連絡会



目次

I 守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校統合校連絡会の設立と提言書の趣旨	1
II 滝井小学校、春日小学校と第三中学校の現状	1
III 滝井小学校と春日小学校の統合と第三中学校との小中一貫校設置に関する要望	3
IV 新設小中一貫校の施設整備の検討と要望	5
■ 守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校 統合校連絡会 委員名簿	6

I. 守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校統合校連絡会の設立と提言書の趣旨

守口市教育委員会では、平成24年3月に「守口市学校規模等適正化基本方針」を策定し、その中で守口市立滝井小学校と春日小学校を統合し、第三中学校との施設一体型の小中一貫校設置に向けて取り組む方針が示されている。

これを受けて、統合校区内では、学校管理職・保護者の代表・地域の代表が集まった委員21名で構成する「守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校 統合校連絡会」（以下、本連絡会）を平成24年7月に設立しました。

第1回の会議の中で、会の運営方法や構成、スケジュール等について協議しました。他にも統合の方法、学校設置場所、学校建設にかかるコンセプト等も含め、具体的な検討を進めてきました。

学校建設に関しては、実施計画、基本設計にいたるまでに、教育内容・方法の多様化等に対応でき、また、地域の実情に応じた学校施設づくり等の様々な条件を整理して基本的な考え方をまとめておく必要があると思います。

本文書は、その基本的な考え方を、「学校管理職・保護者・地域住民等」の参加により検討し、本会における検討協議の結果をとりまとめ、これを第一次提言という形で、守口市教育委員会へ提出致します。

II. 滝井小学校、春日小学校と第三中学校の現状

守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校の現状を確認しました。

1. 滝井小学校の現状

(1) 児童数・学級数等

滝井小学校の児童数は163名（平成24年5月1日現在）、学級数は9学級です。教育委員会の推計によると、今後はやや増加傾向にあり、平成30年度には、225名と推測されています。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援学級	合計
児童数	24(3)	30(1)	22(1)	20(1)	26(1)	32(2)	9	163
学級数	1	1	1	1	1	1	3	9

※ () の中の数字は、支援学級児童数の外数。

(2) 通学区域

滝井小学校の通学区域は、京阪本通1丁目のうち市道守口8号線及び市道守口46号線以西の区域、豊秀町1丁目のうち市道守口46号線以西の区域、日吉町1丁目のうち市道守口46号線以西の区域、金下町1丁目のうち市道守口46号線以西の区域、平代町のうち市道守口46号線以西の区域、文園町のうち市道守口46号線以西の区域、梅園町のうち府道大阪内環状線以西の区域、長池町のうち府道大阪内環状線以西の区域、大門町、寿町、紅屋町、滝井元町1丁目・2丁目・3丁目、滝井西町1丁目・2丁目・3丁目、馬場町2丁目9番・3丁目（12番・13番・14番の区域）です。

(3) 学校の状況等

滝井小学校の敷地は8,924㎡で、敷地内には、校舎、体育館、プールが建設されています。敷地・建物等の状況は、最も古い校舎は昭和11年に建設され、すでに75年が経過しています。施設設備については、抜本的な整備が必要となっています。

2. 春日小学校の現状

(1) 児童数・学級数等

春日小学校の児童数は254名（平成24年5月1日現在）、学級数は12学級です。教育委員会の推計によると、今後は減少傾向にあり、平成30年度には204名と推測されています。

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	支援学級	合計
児童数	39(0)	35(0)	30(2)	49(3)	50(1)	43(2)	8	254
学級数	2	1	1	2	2	2	2	12

※ () の中の数字は、支援学級児童数の外数。

(2) 通学区域

春日小学校の通学区域は、河原町、寺内町1丁目・2丁目、大枝西町、春日町、高瀬町1丁目・2丁目、馬場町1丁目、小春町、梅園町のうち府道大阪内環状線以東の区域、長池町のうち府道大阪内環状線以東の区域です。

(3) 学校の状況等

春日小学校の敷地は5,856㎡で、敷地内には、校舎、体育館、プールが建設されています。敷地・建物等の状況は、最も古い校舎は昭和33年に建設され、すでに50年が経過しています。施設設備については、抜本的な整備が必要となっています。

3. 第三中学校の現状

(1) 生徒数・学級数等

第三中学校の生徒数は195名（平成24年5月1日現在）、学級数は7学級です。教育委員会の推計によると、今後はやや減少傾向にあり、平成30年度には、187名と推測されています。

学年	1年	2年	3年	支援学級	合計
生徒数	52(5)	73(0)	64(1)	6	195
学級数	2	2	2	1	7

※ () の中の数字は、支援学級生徒数の外数。

また、第三中学校には夜間学級が併設されています。平成24年9月10日現在の生徒数は117名、学級数は4学級です。

(2) 通学区域

第三中学校の通学区域は、滝井小学校、春日小学校の全区域です。

(3) 学校の状況等

第三中学校の敷地は11,026㎡で、敷地内には、校舎、体育館、プールが建設されています。敷地・建物等の状況は、最も古い校舎は昭和7年に建設され、すでに80年が経過しています。平成23年度に体育館の耐震補強工事を実施しましたが、施設設備については、抜本的な整備が必要となっています。

Ⅲ. 滝井小学校と春日小学校の統合と第三中学校との小中一貫校設置に関する要望

滝井小学校と春日小学校の統合と第三中学校との小中一貫校設置に関する守口市教育委員会の施策推進等について理解を深めるため、教育委員会事務局の説明を受けました。

今後約6年間をかけて、市内小・中学校27校のうち、11校を対象に統合を進めていく計画で、滝井小学校、春日小学校と第三中学校は第1期計画（平成26年度小学校統合、平成28年度小中一貫校設置）の対象校であり、小中一貫校を新設校として開校する計画になっています。

本連絡会では、新設される小中一貫校について、現第三中学校区の学校管理職・保護者の代表・地域の代表が参加し、積極的に意見交換していくことになりました。

1. 小中一貫校の設置場所

教育委員会が示す小中一貫校の設置場所は、①用地面積、②通学距離、③学校配置の3点から現在の春日小学校・第三中学校を合わせた敷地です。

現在の春日小学校・第三中学校の用地面積を合わせると、滝井小学校の用地面積と比べて広い約17,000㎡の用地を有しています。また位置的にも現第三中学校の通学区域の中央に位置することから、本連絡会でも新設小中一貫校設置に最も好ましい用地であると判断し、教育委員会の考えを支持することとします。

各学校用地面積等の比較表

学校名	春日小	第三中	滝井小
建設年	S32.9	S24.3	S6.4
用地面積(㎡)	5,856	11,026	8,924
運動場(㎡)	2,480	5,968	3,879
建物敷地(㎡)	3,376	5,058	5,045
校舎(㎡)	3,554	4,872	3,565
体育館(㎡)	824	972	590
借地(㎡)	-----	-----	-----
用地面積計	16,882		8,924

2. 小中一貫校の通学区域

通学区域については小中一貫校の設置場所（現在の春日小学校・第三中学校用地）が両校区の中心に近く、通学距離も適正な距離内であることから、現在の第三中学校区（滝井小学校区＋春日小学校区）を通学区域にすることを要望します。あわせて、将来を見据えた通学区域の在り方について検討されることを要望します。

3. 小学校統合と小中一貫校開校の時期

平成26年度に現在の滝井小学校用地にて滝井小学校と春日小学校を統合し、現在の春日小学校・第三中学校用地に小中一貫校を建設し、平成28年度開校を目指す教育委員会の考えを検討しました。より良い教育環境を整備するため新たな学校を建設する観点で教育委員会の考え方を支持することとします。

4. 夜間学級について

第三中学校には夜間学級が開設され約40年の歴史があります。いろいろな事情で、小・中学校を卒業できなかった人が、夜、学んでいます。

また、第三中学校の生徒をはじめ、市内外の児童・生徒との交流も継続的に行われており、小中一貫校にも継続して夜間学級を併設することを要望します。

5. さんあい広場について

春日小学校には、さんあい広場が設置されています。平成13年10月のオープン以来、市内の高齢者が地域の人々とのふれあい、子どもたちとの交流を図ることにより、健康で生きがいを持った生活が送れるよう、さんあい広場実行委員会によって自主的に活動・運営されてきました。多くの高齢者が趣味活動、世代間交流などの場として利用されており、小学生が昔遊びや地域の歴史を学ぶ機会も作っていただいていることから、新設小中一貫校にも継続してさんあい広場を設置されることを要望します。

6. 統合跡地の在り方について

小中一貫校の設置後、現滝井小学校は学校として使用されなくなることから、本連絡会では、統合跡地の在り方について検討しました。

長年学校は公民館祭や盆踊り等の地域の活動拠点として使われてきたこともあり、地域として重要な問題であることを本連絡会の意思として確認しました。

そこで、統合跡地の在り方について、滝井地区の住民の地域活動の拠点を確保すること、災害時の避難場所を確保することを要望します。

7. 学校づくりについて

新設小中一貫校について本連絡会では、子ども達にとってより良い学校をつくる視点から、学校・保護者・地域また子ども達の意見を反映して、今後も教育委員会に要望することとします。

IV. 新設小中一貫校の施設整備の検討と要望

統合校区内の児童生徒と保護者に対して新設小中一貫校に関するアンケート調査を行い、その結果を踏まえて、施設計画の検討を行い、学校づくりのコンセプトなどについて話し合いました。4回にわたり検討を重ね、集約いたしました。

また、意見集約の詳細等も参考にさせていただきますよう別添資料として提出いたします。

1. 施設計画の検討(平成24年10月15日、11月13日、12月4日、12月18日実施)

各委員が児童生徒と保護者のアンケート結果を見ながら意見を出し合い、出し合った意見に基づいて議論を深め、学校づくりのコンセプトについて集約いたしました。

2. 新設小中一貫校への施設整備の要望

新設小中一貫校に関する意見集約を経て、新設小中一貫校の施設整備への意見を以下の通り教育委員会に要望します。

施設整備の要望主題

小中一貫校の特色を生かしたより良い学習環境と

自然を感じ、地域の拠点になる施設整備

施設整備の要望項目(1)



子どもから大人までつながる小中一貫校

- 小中学校9年間の学びをつなぎ、学習意欲の向上が図れる施設整備
- 児童・生徒・保護者・地域が様々な交流を図れる施設整備

施設整備の要望項目(2)

豊かな生活空間と自然を感じ光あふれる教育環境

- 自然を感じ、気持ち良く学校生活を過ごせる施設整備
- 一人ひとりを大切にした、安全で安心な施設整備

施設整備の要望項目(3)

地域に根ざした学校づくり

- 地域の人々が集い、地域の教育力を生かせる施設整備
- 避難所としての役割が果たせ災害時に対応できる施設整備

■ 守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校 統合校連絡会 委員名簿

◎会長：渡部 良司 ○副会長：大林 芳子 中村 民江

氏名	区分
◎渡部 良司	校長(第三中)
倉田 庸生	教頭(第三中)
東野 隆司	夜間学級担当教頭(第三中)
仲辻 廣宣	P T A会長(第三中)
峯 利枝	P T A副会長(第三中)
○大林 芳子	校長(滝井小)
濱口 和久	教頭(滝井小)
藤岡 秀匡	P T A会長(滝井小)
辻 芳子	P T A副会長(滝井小)
西村 明夫	公民館地区運営委員長(滝井小)
宮本 邦子	公民館地区運営副委員長(滝井小)
竹内 美喜枝	滝井地区福祉委員会委員長(滝井小)
杉本 清	滝井東町会会長(滝井小)
○中村 民江	校長(春日小)
大森 達也	教頭(春日小)
高山 孝一	P T A会長(春日小)
工藤 亜紀	P T A副会長(春日小)
山下 利光	公民館地区運営委員長(春日小)
深江 啓子	公民館地区運営副委員長(春日小)
原田 一宏	公民館地区運営副委員長(春日小)
高橋 誠二	青少年育成指導員会校区長(春日小)

■守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校 統合校連絡会について

(1) 守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校 統合校連絡会 会則

(設置)

第1条 守口市立滝井小学校と守口市立春日小学校、守口市立第三中学校の統合を円滑に推進するため、守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校統合校連絡会（以下「統合校連絡会」という。）を設置する。また、その位置づけは、学校統合に際し検討すべき事項について、関係者の代表として意見をとりまとめるための任意組織とする。

(検討事項)

第2条 統合校連絡会は、次に掲げる事項について検討し、守口市教育委員会に提言するものとする。

- (1) 統合校の施設整備に係る事項
- (2) 統合校の学校名、校区等に関する事項
- (3) その他統合に向け検討すべき事項

(組織)

第3条 統合校連絡会の委員は、学校統合に関係する学校及び地域ごとに次の各号に定めるところとする。

- (1) 公民館地区運営委員長及び地域代表 各小学校区
 - (2) 小中学校管理職
 - (3) P T A会長等小中学校保護者代表
- 2 委員の任期は、第2条の提言をするまでとする。ただし、選出母体の役員の改選等により交代する場合は、後任者が委員を引き継ぐものとする。
- 3 検討を進めていくうえで必要が生じた場合は、学識者・関係者等の意見を求めることができる。

(会長及び副会長)

- 第4条 統合校連絡会に会長及び副会長を置く。会長は、統合校連絡会構成員の互選により決定し、副会長は会長が指名した者をもって充てる。
- 2 会長は、統合校連絡会を代表し、運営を総括する。
 - 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

- 第5条 会議は、会長が必要に応じて召集する。会議の議長は、会長が行うものとする。
- 2 会議は、構成員の過半数の出席がなければ開催することは出来ない。

(その他)

第6条 この会則の定めるもののほか、統合校連絡会の運営に関して必要な事項は、委員の協議により定める。

附 則

この会則は、平成24年7月9日から施行する。

(2) 守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校 統合校連絡会 委員名簿

◎会長：渡部 良司 ○副会長：大林 芳子 中村 民江

氏 名	区 分
◎渡部 良司	校長(第三中)
倉田 庸生	教頭(第三中)
東野 隆司	夜間学級担当教頭(第三中)
仲辻 廣宣	P T A会長(第三中)
峯 利枝	P T A副会長(第三中)
○大林 芳子	校長(滝井小)
濱口 和久	教頭(滝井小)
藤岡 秀匡	P T A会長(滝井小)
辻 芳子	P T A副会長(滝井小)
西村 明夫	公民館地区運営委員長(滝井小)
宮本 邦子	公民館地区運営副委員長(滝井小)
竹内 美喜枝	滝井地区福祉委員会委員長(滝井小)
杉本 清	滝井東町会会長(滝井小)
○中村 民江	校長(春日小)
大森 達也	教頭(春日小)
高山 孝一	P T A会長(春日小)
工藤 亜紀	P T A副会長(春日小)
山下 利光	公民館地区運営委員長(春日小)
深江 啓子	公民館地区運営副委員長(春日小)
原田 一宏	公民館地区運営副委員長(春日小)
高橋 誠二	青少年育成指導員会校区長(春日小)

(3) 守口市立滝井小学校・春日小学校・第三中学校 統合校連絡会 第一次提言までの活動状況

回	開催日	主な協議事項	参加者等
第1回	H24年7月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の趣旨の説明 ・ 会則について ・ 会長・副会長選出 ・ 学校づくりに関する具体的検討 <ul style="list-style-type: none"> ① 学校設置場所 ② 校区 ③ 開校時期 ④ 校名 ⑤ 学校づくりのコンセプト ・ 連絡だよりについて 	
第2回	H24年8月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校名 <ul style="list-style-type: none"> ① 意見集約の方法の検討 ・ 学校づくりのコンセプト検討 <ul style="list-style-type: none"> ① 他市の学校の検討 ② 意見集約の方法の検討 	
連絡会だより（創刊号）発行・HP掲載	H24年8月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・保護者・地域の方々に統合校連絡会だより配布、HP掲載 	
アンケート調査	H24年8月28日～ H24年9月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合校区内の小・中学校の子ども達および保護者を対象に実施 	
第3回	H24年9月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校名 <ul style="list-style-type: none"> ① 募集要項・応募用紙の検討 ・ 統合跡地の在り方 <ul style="list-style-type: none"> ① 委員による検討 	
連絡会だより（第2号）発行・HP掲載	H24年9月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・保護者・地域の方々に統合校連絡会だより配布、HP掲載 	
第4回	H24年10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校名 <ul style="list-style-type: none"> ① 募集期間等の決定 ・ 学校づくりのコンセプト検討 <ul style="list-style-type: none"> ① アンケート結果を参考に意見集約 	
連絡会だより（第3号）発行・HP掲載	H24年10月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・保護者・地域の方々に統合校連絡会だより配布、HP掲載 	
校名募集（公募）	H24年10月22日～ H24年11月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合校区内の子ども達・保護者・教職員・地域住民および卒業生を対象に実施 	
第5回	H24年11月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 守口市の小中一貫教育について （教育委員会事務局 教育・人権指導課より説明を受ける） 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・学校づくりのコンセプト検討 ① アンケート結果を参考に意見集約 	
第6回	H24年12月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校づくりのコンセプト検討 ① 委員による検討 	
連絡会だより（第4号）発行・HP掲載	H24年12月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・保護者・地域の方々に統合校連絡会だより配布、HP掲載 	
第7回	H24年12月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校づくりのコンセプト検討 ① 委員による検討 ・第一次の提言書の作成、確認 	
連絡会だより（第5号）発行・HP掲載	H24年12月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・保護者・地域の方々に統合校連絡会だより配布、HP掲載 	
第一次提言書の提出	H24年12月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会に提出 	会長

■滝井小学校・春日小学校・第三中学校、児童・生徒・保護者の
学校づくりに関するアンケート集計

1. 学校全体

ハード

- ・オープンな学校（いじめ防止）。3
- ・小中学校で交流できる場所。3
- ・影や死角のない校舎。3
- ・木をいっぱい使った校舎。2
- ・お城みたいな学校。1
- ・カラフルな学校にしてほしい。1
- ・光たっぷりの明るい校舎。1
- ・移動しやすく、保護者にもわかりやすい配置にしてほしい。1
- ・小中校舎の分離（時間割の差異によるチャイムの混同により、混乱が考えられる）。1
- ・できるだけ校舎をまとめてつくる（中学校と小学校が共有）。1
- ・ホルムアルデヒド不使用等、化学物質アレルギーに配慮した内装を期待。1
- ・4階建てがいい。1
- ・6階建てがいい。1
- ・壁にロックライミングのボコボコを付けてほしい。見た目も鮮やかになる。1
- ・大きい校舎。1

ソフト

- ・子どもが楽しく通える学校。4
- ・小中学生が仲良くできる学校。2
- ・9年間という長い間子どもたちが安心して登校し、学校生活できるように。2
- ・いじめのない楽しい学校。1
- ・物質的に豊かな学校は意見や経費でいくらでも作れますが、内面の充実は大勢の（意見・習慣・性格・宗教が異なる）人が集まる学校では容易ではない。解放的でお互いが尊重できるような環境が自然と生まれる空間。1
- ・小中学生と夜間学級生が楽しくお話ができるような学校。1
- ・笑顔とあいさつがいっぱいできる学校。1
- ・スポーツに力を入れてほしい。1
- ・春日小学校といっしょになったら友達がいっぱいふえるからいい。1

2. 学習環境

ハード

【図書室】

- ・広い図書室。10

- ・本の多い学校。9
- ・図書室の開放時間を増やしてほしい（休み時間、休日、長期休暇、常時）。6
- ・充実した図書室。4
- ・インターネットで自由に検索できたらいい。3
- ・図書室は小学・中学生用に別々にしてほしい。2
- ・小中合同で使う大きな図書室がほしい（学年が違う子ども同士が接する機会）。2
- ・隅に自習できるスペースがあるといい。1
- ・開放的な図書室。1
- ・専任の図書館司書の常駐、ムーブ21などの図書館との連携。1
- ・自学コーナー、自由に読むコーナー、調べ学習コーナーなど、もっと多くの子どもが図書室を身近に感じられるような空間になればいいと思う。1
- ・教室から近い所にあるゆったりとした図書室がほしい。1
- ・読みたい本が見つけやすい図書室がほしい（検索システムがあるとベスト）。1
- ・小、中、夜間が声を掛け合える広い図書室。1

【自習室】

- ・静かな環境で勉強できる自習室。20
- ・自習室は土日や春休み、夏休み、冬休みも利用できるようにしてほしい。4
- ・自習室は小学・中学生用に別々にしてほしい。2
- ・集中するために個別（両サイドに遮る壁があるもの）と数人でできるタイプの自習室がほしい。2
- ・朝から夜まで使える自習室。1

【教室】

- ・広い教室。6
- ・ろうかから教室を見えやすくしてほしい。2
- ・風通しのよい教室。2
- ・壁のない教室。2
- ・教室のロッカーを大きくしてほしい。2
- ・各教室は開放的にするのではなく、今まで通り一教室ずつ仕切りのあるものにしてほしい（可動式にして必要な時に開けるのはOK）。1
- ・光たっぷりの明るい教室。1
- ・開放的な教室。1
- ・黒板を大きくしてほしい。1
- ・教室でお湯がでるようにしてほしい。1

【特別教室等】

- ・1人1台使えるコンピュータ室。4
- ・広い更衣室（小学校部分にも）。3
- ・誰にでも使用できるオープンスペース。3
- ・誰でも使える部屋。2
- ・みんなが集まれる（区切れる）ホール。2

- ・夜間学級に保健室。 2
- ・家庭科室の流し台、コンロ台を今の子供たちに合わせて高くしてほしい。 1
- ・いろいろな学年が交流できるようなスペースがあればいい。 1
- ・和室（華道、茶道、武道に対応）。 1
- ・保健室は小中共同で利用し、学年が違う子ども同士が接する機会が多くあれば。 1

ソフト

【学力】

- ・英語に力を入れてほしい（小学校から、触れ合う機会が多くなるように）。 2
- ・学力アップになる教育。 2
- ・放課後、苦手科目の授業など常時子どもたちが自主的に参加できるようなクラスがあれば。 1
- ・勉強ができる子、できない子の差が激しくあかないようにフォローしてもらいたい。 1
- ・中学校から高校受験する際に、小学校からトータルで弱点を克服し、一人一人の成績や能力を伸ばしていけるようにしてほしい。今は小学校はこうだけど、中学校に言ったら知らない的な感じがする。小中で能力を伸ばしていけるよう連携してほしい。 1
- ・各学年のカリキュラムがきちんと行われるように。 1
- ・放課後、宿題や学習を見てくれる先生がいればいい。 1
- ・学校全体で漢字検定、英検など資格を取得する取組みを希望する。 1
- ・他の学校にはない特色ある授業（小学生ならそろばん等）を期待する。 1
- ・土曜日も授業（選択科目やクラブ活動）してほしい。 1
- ・移行期間中も含め放課後や土曜日の自習室の開設。キッズ守口の活用や他地域のサタスタのような制度等。 1

【ICT】

- ・学校や家庭からインターネットにアクセスして利用できるeラーニング教材。 1
- ・タブレット端末によるICT教育。 1
- ・他国との英語での交流やプレゼンテーションコンテストなどのICT活用。 1
- ・コンピュータ室を自由に使えるようにしたい。 1

【学校体制】

- ・悩み事やいじめの事などを相談できる学校関係ではない第三者機関の設置。 4
- ・児童、生徒の本音や意見をちゃんと聴ける時間と人数の体制が整っている学校。 1
- ・職員室、保健室に先生不在が多いので常にいてくれて安心できる学校。 1
- ・外国人講師の常駐。 1
- ・安心して過ごせる学校が望ましい。（安全面・精神面・身体面・交友関係、先生と生徒の関係面など）。 1
- ・指導員の配置。 1
- ・先生が生徒をもっと教育できるような学校にしてほしい。 1
- ・いじめに対して（いろいろな問題も）隠すことなく家庭と協力して解決していく→学校でのことは家庭へもちゃんと伝えてほしい。 1

【学校行事】

- ・(春日小伝統の)朝マラソンは残してほしい。2
- ・学校全体で取り組めるプロジェクトをつくってほしい。1
- ・作品展・音楽会を続けてほしい。1

【部活動・クラブ活動】

- ・部活動の種類(数)を増やしてほしい。10
- ・部活動の充実。5
- ・小中一貫校の特色を生かしたクラブ活動をできるような学校(小学生(高学年)の中学校部活動への参加等)。4
- ・部活動をもっと活発にしてほしい。2
- ・サッカー部をつくってほしい。1
- ・水泳部をつくってほしい。1

3. 運動関係

【運動場】

- ・のびのびと安全に遊べる広い運動場。38
- ・遊具の充実(健康遊具、アスレチック、すべり台、ブランコ、鉄棒、ジャングルジム、うんてい、木の遊具等)。20
- ・運動場の芝生化。12
- ・運動場は小学生、中学生が安全に自由に使えるように別々にあった方がいい。3
- ・いろいろな部活や運動ができる運動場にしてほしい。2
- ・バックネットをつけ、ホームベースとピッチャープレートをうめこみにする。1
- ・校庭がせまいので、緑を豊かにし、ボール遊びができるスペースを増やしてほしい。1
- ・校舎で仕切らず、広いグラウンドを作るのはどうか。1
- ・野球ができる広い校庭。1

【体育館】

- ・広い体育館。7
- ・体育館は小学生、中学生が安全に自由に使えるように別々にあった方がいい。2
- ・体育館にクーラーがほしい。2
- ・体育館がもう少し涼しくなればよい。1
- ・体育館は小中共同で利用し、学年が違う子ども同士が接する機会が多くあれば。1

【プール】

- ・プールを大きくしてほしい。3
- ・避難場所にもなると思うので、プールから上がった後に入るのと兼用のお湯の出るシャワー室を作ってほしい。1
- ・プールを小さくしてほしい。1
- ・プールの増設を希望。1
- ・もう少しプールをきれいに。1

- ・室内プールにしてほしい。1
- ・プールの更衣室設置。1
- ・一年中泳げるプール。1
- ・プールは大・小作ってほしい。1

4. 日常生活

【トイレ】

- ・洋式トイレの数を増やしてほしい。13
- ・きれいなトイレ。11
- ・明るいトイレにしてほしい。6
- ・広いトイレを作してほしい。4
- ・トイレを増やしてほしい（休み時間に混むので）。3
- ・トイレが外から見やすい上に汚いので見えにくい工夫をしてほしい。3
- ・使いやすいトイレにしてほしい。2
- ・低学年でも怖くないようにしてほしい。2
- ・男子トイレもすべて個室化。1

【食堂・給食】

- ・中学校給食の導入。14
- ・食堂がある学校にしてほしい。9
- ・食堂（小中みんなで食事をする）。6
- ・中学校でも給食室で作ったおいしい給食を提供してほしい。4
- ・広い食堂でバイキング。2
- ・学食の充実、購買部でのパン等の商品の充実化。1
- ・小学校は給食があるので調理場を共有したりして食堂を作してほしい。やっぱり注文弁当より作りたてのごはんの方がおいしいと思う。1
- ・シルバーの人や夜間学級の方と広い農園を作ってもほり大会や少し給食にも自給自足の野菜を食べることで勉強になるのでは。1
- ・オープンスタイルの食堂でバイキング形式のランチbuffet（一般の人でも利用できる）施設を作してほしい。1
- ・小中学生に給食センターを。そして、食堂やカフェテラスに少し座って休憩できるような場所がほしい。1
- ・食堂もしくは全学年給食。2
- ・給食を各教室近くまで（教室のある階まででも）運んでほしい。（ゆとりある給食時間の確保）1

【ユニバーサルデザイン】

- ・エレベーターを設置してほしい（身障児・身障者の方のため）。6
- ・バリアフリー（身体が不自由な子供達にも活動できるように、地域のお年寄りの方も利用でき、生徒達も幅広く交流できる）。4
- ・ハンデのある子ども達に対して設備の面でも指導の面でも優しい学校。1

- ・みんなが使いやすい部屋。 1
- ・ろうかはフラットにして、車いすでも使いやすい（そうじも楽）校舎。 1
- ・現さんあい広場、地域活動拠点としてふさわしいようにユニバーサルデザインなトイレ。今あるスロ
ープも良い。 1
- ・夜間でも明るい教室。 1

5. 小中一貫関連

- ・小中学校が交流できるようにしてほしい。 12
- ・小中学校で行事を一緒にやってほしい。 5
- ・小学1年～中学3年生の縦割りで活動する時間をつくってほしい。 4
- ・運動会も小中一緒にしてほしい。 3
- ・小中一貫になってしまうと、6年の高学年としての自覚・責任がなくなってしまうような気がする。
1
- ・小・中の先生の連絡のとれた学校にしてほしい。 1
- ・中学生が小学生の勉強を教えてあげる機会をもつ（お互いの勉強になるので）。 1
- ・小学生と中学生が一緒に勉強する時間をちょっとはほしい。 1
- ・9年間の適切な時期に大きく空気を変えるような機会を設けてほしい。 1
- ・小中一貫になることで、学校が荒れないようにしっかりと対策してほしい。 1
- ・中学生が小学生をいじめめるようなことがないような学校にほしい。 1
- ・中学生がリーダーシップをとって小さい子の世話をするのはいいこと。 1
- ・いじめのない学校。目上を敬い、年下を可愛がる心を小中一貫校では実施してほしい。一学年でも年
上なら敬う。尊敬される行動をとる。 1
- ・新一貫校は児童・生徒の年齢幅も広がり、保健（精神衛生）的な面の充実が必要。保健室の設備的な
面はもちろんのこと（例えばクールダウンできるスペースを確保するとか）スクールカウンセラーの
活用などはいかがでしょうか。 1
- ・中学校の先生が小学生を教える学びのスタイル。 1
- ・小1～中3のたてわりで運動会（チームワーク）。 1
- ・小中学生のつながりがプラスになる学校になればいい。 1
- ・小学校と中学校の交流もあるが、それぞれの学校生活と子ども達の必要な成長過程を重視した学校。
1
- ・小学校の卒業式と中学校の入学式がある学校。 1

6. 緑や自然

- ・緑が豊かな学校。 11
- ・いろんな花や木（桜や果物、季節を感じられるものなど）をいっぱい植えてほしい。 8
- ・広い学習園を作る。自然とふれあい、児童生徒全員で育てて収穫して小中学生の交流をはかる。 8
- ・ビオトープを作ってほしい。 4
- ・自然がたくさんあり、子ども達がのびのびと遊び、生活ができる環境。 3

- ・緑や花に囲まれ池や噴水のある学校。 2
- ・緑がたくさんあって花畑のような学校（ガーデン）。 1
- ・入学・卒業の思い出に桜の花をバックに撮影できるよう樹木を増やしてほしい。 1
- ・エコロジーを意識できるような緑の多い学校。（緑のカーテンなど） 1
- ・守口大根など野菜を育てる畑や小動物を飼育する小屋など。 1
- ・小中合同で子ども達が世話をする花壇。 1
- ・緑多き環境の中で和気藹々として勉強できるような建物。 1

7. 安全面

- ・窓の柵など安全で動線のよい校舎。 5
- ・耐震がしっかりしている学校にしてほしい。 3
- ・防犯がよい学校（不審者対策）。 3
- ・耐震、避難に重きを置いた校舎。 1
- ・地震などに備えて防空頭巾など備える場所をつくる。 1
- ・災害時の避難場所や拠点となった場合の想定。 1
- ・セキュリティを万全にし、災害対応も考慮した環境。 1
- ・安心して子どもを通わせることができる学校。安全面に気をつけてほしい（通学路を含めて）。 1
- ・いつ如何なる天変地異にも耐えられるような高さ（津波対策）。 1
- ・屋上に防災用に避難場所。 1
- ・災害時には避難場所としての役割を考慮して地域の生活とも親密な情報連携ができるようにしてほしい。 1

8. 地域開放等

- ・日曜日は地域のコミュニティセンターとして開放してほしい。 1
- ・運動場の開放（夏はプールも）など子どもたちが自由に集まれる場があればいい。 1
- ・地域にも開かれた学校であってほしい。滝井小学校で始まった「すこやか文化活動」など地域の方たちとの交流を続けてほしい。 1
- ・「さんあい」のような地域との交流の場所。 1

9. その他

ハード

- ・学校に保護者等が自転車で行けるよう自転車置き場。 3
- ・ウォータークーラー（水飲み場）がほしい。 3
- ・校舎の屋上の利用（花壇やテニスコート等スポーツできるスペース）。 3
- ・普通教室だけでなく、家庭科室などすべての教室にクーラーの設置を。 2
- ・くつ下が真っ黒になるので、下足室のようなものをつくってほしい。 2
- ・手洗い、うがい、昼食後の歯磨きができる環境。 2
- ・使える非常階段をつくってほしい。 1

- ・室内の遊び場。 1
- ・遊べるスペースがほしい。 1
- ・時計を大きくしてほしい。 1
- ・小中が共用で使用できる施設（遊具等）をつくってほしい。 1
- ・外に屋根付でテーブル、ベンチを何台か設置し、（休憩時間や雨の日でも使用できたり、順番に外でランチする日を作れたり、授業で使ったりできる）開放的なスペース。 1

ソフト

- ・動物が飼育できる学校にしてほしい（うさぎ、こい、ハムスター、にわとりなど）。 6
- ・音楽室の楽器の充実。 2
- ・小学生には大きなお姉さん、お兄さんの中学生が仲良く遊べて大人が入り込まずケンカ等問題があった時などは年齢が近い者同士が解決できるような話し合いのできる環境（スペース）等を作ってほしい。 1
- ・水道からお茶が出てほしい。 1

【制服・体操服等】

- ・かわいい制服。 2
- ・制服は小中デザイン統一して、体操服も（イングリッシュ風ジャージ等）デザインを一新してほしい。 2
- ・制服はあった方がよい。 1
- ・制服の廃止、もしくは色の変更（色あせてしまうので）。 1
- ・冬物の体操服。 1
- ・小中共に髪の高い生徒は束ねてほしい。 1
- ・冬の上着やハイソックス、ヘアアクセサリなどもう少し自由にしてほしい。 1

【放課後】

- ・放課後自由に遊べるスペースを確保してほしい。（地域にボール遊びができる公園が少ない） 3
- ・放課後、児童クラブ以外に子ども達が集まって、遊んだり学んだりできるクラスのような場があるといい。 2
- ・放課後スクールをしてほしい（英語、美術など）。みどり組、わいわいを廃止して新しく統一。 1
- ・児童クラブ（入会）を6年生までにしてほしい。無理なら小中学生が放課後一緒に過ごせる教室がほしい。 1

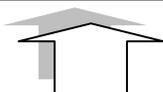
【夜間学級】

- ・小・中・夜間が一度に交流できる場があれば。 2
- ・補食給食。 1
- ・ラジオ体操。 1
- ・運動会や遠足など夜間学級と合同でできれば。子ども達の意見をよく聞いて進めてほしい。 1
- ・夜間学級に手作りのできるクラブ。ミシンで袋をぬったり、毛糸で帽子やマフラーをあんだり。 1

■滝井小学校・春日小学校・第三中学校の新設小中一貫校の施設整備への意見集約

施設整備の要望主題

小中一貫校の特色を生かしたより良い学習環境と
自然を感じ、地域の拠点になる施設整備



施設整備の要望項目(1)

子どもから大人までつながる小中一貫校

- 小中学校9年間の学びをつなぎ、学習意欲の向上が図れる施設整備
- 児童・生徒・保護者・地域が様々な交流を図れる施設整備

施設整備の要望項目(2)

豊かな生活空間と自然を感じ光あふれる教育環境

- 自然を感じ、気持ち良く学校生活を過ごせる施設整備
- 一人ひとりを大切にした、安全で安心な施設整備

施設整備の要望項目(3)

地域に根ざした学校づくり

- 地域の人々が集い、地域の教育力を生かせる施設整備
- 避難所としての役割が果たせ災害時に対応できる施設整備

1. 滝井小・春日小・第三中学校統合校連絡会 学校づくりの要望詳細

(1) 学校全体

- ①風通しのよい光あふれる明るい校舎。
- ②敷地を有効利用し、様々な活動が可能な配置。
- ③子どもから大人まで学びがつながり、自然に交流できる学校。
- ④人と人との出会いを大切にし、楽しく笑顔あふれる誰もが行ってみたいくなる学校。

(2) 学習環境

- ①明るく様々な学習形態に対応した機能的な学習空間。
- ②自ら学ぶ意欲を高める図書室、自習室、ICT環境など学びの中心となる空間。
- ③様々な交流が有効に行える多目的スペース。

(3) 運動関係

- ①様々な活動に対応した、機能的で安全な運動施設。

(4) 日常生活

- ①多目的に使用できるランチルームの設置。
- ②明るくきれいな掃除のしやすいトイレの整備。
- ③エレベーター、バリアフリーなどユニバーサルデザインを意識した施設。

(5) 小中一貫関連

- ①小中一貫校の特色を生かした学びが展開できる施設。

(6) 緑や自然

- ①緑と自然が豊かな、木のぬくもりが感じられる学校。

(7) 安全面

- ①防犯、防災、事故防止に対応した子どもが安全に過ごせる施設。

(8) 地域開放等

- ①地域の人々が集える、地域の教育力を生かせる施設。

2. 要望検討での主な意見

(1) 学校全体

■建物全体に関する意見

- ・ハード面では、日当たり、風通し。
- ・光あふれるやさしい学校。
- ・風通しのよい光が入る明るい校舎。
- ・影や死角のない校舎。いじめのない学校。
- ・敷地の有効利用。建物高さ。屋上にプール（1 Fにプール）。運動場は広く。
- ・4階建てで屋上も活用。運動場は広く。
- ・プールは中小別になるように場所の確保。

■建物内部に関する意見

- ・誰でも通る場所に交流できるスペースがあるのが望ましい。
- ・子どもから大人まで学びがつながる学校。
- ・児童・生徒・夜中生が自然に交流できる学校施設、スペース。

■学校の雰囲気に関する意見

- ・楽しく笑顔あふれる学校。
- ・笑顔集う楽しい学校。
- ・誰もが行ってみたいくなる学校。

(2) 学習環境

■普通教室に関する意見

- ・明るい子どもたちの健康面も考慮された教室。（照度の問題、身体に合った机・椅子等）
- ・電灯はLEDにしてほしい。
- ・学習に集中できる教室。
- ・可動間仕切り。
- ・ホワイトボードの有効活用。
- ・各教室と職員室を内線電話でつなげる。
- ・児童・生徒の荷物がしっかり収納できるロッカーの設置。

■特別教室に関する意見

- ・図書館はパソコン管理で司書が常にいる。
- ・自ら調べ学習のできるそれを生かした図書室、ICT教室等の設置。
- ・広く本の多い図書室。
- ・図書の充実と図書室を学校の中心に配置するなど読む楽しさを感じさせる工夫
- ・児童・生徒だけでなく、地域の方も利用できる図書室ではなく図書館であれば。
- ・図書室はメディアセンターとコンピュータの活用により本の検索、情報の収集、自学自習等様々な角

度から使用できるのがいい。

- ・自由に学べる場所の確保（図書室、自習室、コンピュータ室）。
- ・自習室の設置。
- ・交流や共有を目的としたスペースはそれぞれ独自のものを別に作る。
- ・様々な交流が有効に行える多目的ルーム。

■ソフト面、その他

- ・学力向上に力を入れる学校。
- ・クラブ活動の充実。
- ・一人ひとりの子どもも大切にした学習環境。

（3）運動関係

■体育施設に関する意見

- ・運動できる場所は広く取れたり小中で分けられたりする工夫。
- ・小学生低学年と高学年・中学生が使える場所を作る
- ・体育館、運動場とも小中別でも小中一緒でも使えるような設計に。
- ・プールを屋上することも検討しグラウンドを広くとる。
- ・体育館は2棟必要。

（4）日常生活

■昼食に関する意見

- ・健全な体を作るための食育は大切。
- ・小中でも給食室で作ったおいしい給食を提供して欲しい。
- ・給食は自校方式。
- ・ランチルームは児童生徒が交流するスペースなど、多目的な部屋の使い方ができるように。

■トイレに関する意見

- ・トイレを大きく、明るい小1から中3まで共用。
- ・トイレは使いやすく美しく。
- ・明るくきれいな掃除のしやすいトイレ。

■ユニバーサルデザインに関する意見

- ・バリアフリー施設にする。
- ・エレベーターは必要。
- ・バリアフリーを生かした段差のない校舎設計。
- ・教室の色分け(学年ごとに学年カラーを作り分ける)。アレルギーや環境に配慮した内装。

(5) 小中一貫関連

■小中一貫に関する意見

- ・小中一貫の特色を生かして学力の向上を図ってほしい。
- ・目上を敬い、年下を可愛がる心を育てる小中一貫校にしてほしい。
- ・小学校1年から中学校3年までの自主学習ルーム（放課後学習など）。
- ・小中一貫校の特色を生かし、小中で活動できるクラブ活動。
- ・9カ年の学びができる多目的な広場のある学校。
- ・小中一貫校として良い面が生かされる教育を期待。

(6) 緑や自然

■緑や自然に関する意見

- ・校門を入れやすく校舎ではなく、エントランスに余裕がほしい
- ・花や木をいっぱい植えて広い学習園を作り、収穫し、小中学生で食べられる交流をつくる。
- ・周辺住民に落葉で迷惑をかけないように配慮。
- ・季節感や自然の恵みを感じられるよう、庭や学習園、学校樹木を計画的に配置。
- ・生き物、植物などのちや自然を感じることができるよう、校舎、運動場等への工夫。世話は地域の方々とともに。
- ・木の薫り木のぬくもりが感じられる校舎。
- ・ビオトープのある学校。緑と自然豊かな学校。木のぬくもりを生かした校舎。屋上緑化。

(7) 安全面

■安全面に関する意見

- ・安全で児童生徒の動線を考えた校舎。
- ・安全面に気をつけ、安心して子どもを通わせることができる学校。
- ・校門付近に地域交流ルームを作って出入りの自由があるスペースと、ここからは入れないという仕組みを作る。
- ・耐震、避難を考慮した施設づくり。

(8) 地域開放等

■地域開放等に関する意見

- ・地域に開かれた学校。
- ・運動場の開放をし、地域の方たちの交流の場所。
- ・さんあい広場の設置
- ・小、中、夜間、地域が住み分けられる環境を作る。
- ・地域の人々が集える場所の確保。
- ・コミュニティセンターとしての性格をもち、特色・実態に応じた固有の活動を確保し、活動も展開しやすく設計された校舎や空間のある学校。
- ・地域コミュニティースクール。